



森の子のメンバー

## 森の子

# 学生

地域貢献事業

第21回

東三河の環境保全に取り組み、奥三河や豊川市の自然に関するリーフレットなどを作成してきた。生物多様性を確保し健全な生態系を守るための活動を続けている。自然の在り方を学び、その魅力を発信することに力を注ぐ。環

境保全としては、新たな植樹や水生生物調査などを行い、マップを作って発信してきた。代表の小寺遼さんらは「奥三河をはじめ、東三河地域には豊富な自然が残っている。その財産を大切に守り、次世代を受け渡したい」と話す。これまで、間伐材の活用を促進するための積み木づくりを実施したり、広葉樹の苗木を市民に配布したりと、森林や自然の魅力を

啓発してきた。「自分たちが学んだ知識を深め、それを広めたい。森林の生物などについても深く知りたい」と話す。新城設楽生態系ネットワークとともに作成したリーフレット「見たい！知りたい！感じたい！覗いてみよう！自然の世界」では、乳岩峡(ちいわきよつ)や阿

寺(あであら)の七滝など10カ所の自然スポットを独自に選定し、その成り立ちや特色を紹介した。写真を多用し、分かりやすさを工夫して編集。散策マップも付け、多くの人が実際に訪れて歩けるよう配慮し評価された。その後、豊川市と連携して「感じてみよう！とよかわの自



活動の様子

然」も発行。自然豊かなスポットや自生する植物、生物などを紹介するだけでなく、野草の食べ方を提案するコラムなどをつけて楽しく読めるよう趣向を凝らした。「外部の団体から声をかけてもらう機会が多く、多彩な活動ができ感謝している。今後は、自分たちから提案する活動を積極的に展開したい」とメンバーたちは意気込む。

「若者を対象に、SNS(ソーシャルネットワーク)や動画配信サイトYouTubeなどを活用して情報発信もしたい。イベントなどでも有機的に組み合わせ、自然の大切さを訴えたい。一人ではできないことだからコツコツ続けたい」。今後も、学生ならではの横断的な目線で活動に取り組んでいく。(大林恭子) ※協力・愛知大学

## 東三河の自然を守る